

第55回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< 生存圏研究所 >

日時：2025年 9月 25日 (木) 13:30~17:20

場所：京都大学 宇治キャンパス (宇治市五ヶ庄)
木質材料実験棟(木質ホール)3階



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回は生存圏研究所との交流会です。

≪第1部:講演会≫

◇ 開会のご挨拶 13:30~13:40

◇ 研究シーズ (質疑応答含む) 13:40~15:30

「植物種横断的な遺伝子機能解析 -植物進化の軌跡を辿る-」

京都大学 生存圏研究所 助教 異 奏 氏

現在、地球の陸上に繁栄する30万種を超える植物は、約5億年前に水中から陸上に進出した単一の植物種を共通祖先としています。近年、系統の異なる様々な植物種を分子遺伝学的に比較・研究することで、植物がどのように進化してきたのか、その詳しい経緯が明らかになりつつあります。本講演では植物を司る生命機能の由来や起源を解析する手法や技術について紹介します。



「低コスト高性能マイクロ波技術の最前線」

京都大学 生存圏研究所 特任助教 楊 波 氏

京都大学では、長年にわたり宇宙太陽光発電の研究に取り組み、宇宙から地上へ安全かつ効率的にエネルギーを送るための大電力マイクロ波技術を磨いてきました。その成果をもとに、従来より大幅に低コストで高性能な「注入同期マグネトロン」を開発し、位相制御や変調機能、将来の宇宙利用はもちろん、産業・医療・無線給電など、私たちの身近な加熱分野にも応用が期待されています。本講演では高出力・高性能・高効率でありながらも安価に構築できるこの技術によるマイクロ波エネルギーの新たな利用のかたちを提案します。



◇ 関連企業紹介 (質疑応答含む) 15:40~16:20

「株式会社モトヤマのマイクロ波加熱炉事業の紹介」

株式会社モトヤマ 顧問 小野 晃義 氏

株式会社モトヤマは、電気炉メーカーとして知られていますが、今回京都大学との共同研究により新たにマイクロ波加熱炉の開発/販売を始めました。本講演では、モトヤマのマイクロ波加熱炉事業を紹介します。



◇ 施設説明 16:20~17:20

植物生体高分子分析装置(GC-MS)・植物育成サブシステム
マイクロ波エネルギー伝送実験装置

≪第2部:懇親会≫ 参加費制 レストランきはだ 17:30~19:00

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業 21
- ◆共催 京大大学生存圏研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市

参 加 申 込 書

第 55回京都大学宇治キャンパス産学交流会(9月25日(木)開催)

【WEB 申し込み】 京都府中小企業技術センターホームページ TOP ページ
「第 55回京都大学宇治キャンパス産学交流会」より

【E-mail/FAX での申し込み】

E-mail: keihanna@kptc.jp / FAX:0774-66-7546

【締め切り】 9月23日(火)(先着50名)

【参加費】第 1 部:無料/第 2 部:企業連絡会員2000円・一般5000円(講演会受付時に徴収)

*ご記入いただいた個人情報は開催者で共有するとともにイベント等のご案内に利用することがあります

会社名				
所在地	〒			
氏 名	所 属	電話番号	E-mail	参加(○印)
				1 部・2 部
				1 部・2 部
				1 部・2 部

☐ ← 交流会で配付する参加者名簿(所属・氏名)への掲載を希望されない場合はチェック ☒ をお願いします。

- 公共交通機関の利用にご協力ください。(お車の場合は 南門(守衛室) での駐車手続きが必要です)
- 講演会場は木質材料実験棟(木質ホール)3階です

京阪黄檗駅 から徒歩5分

